

令和2年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 趣のある風景情報発信事業	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘前城本丸石垣整備事業	3
2 鷹揚公園整備事業	4
3 旧五十九銀行本店本館整備事業	5
4 景観重要建造物保存・改修費助成事業	6
5 趣のある建物情報発信事業	7
6 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し事業	8
7 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	9
8 伝統的建造物群保存地区地方道改修事業	10
9 主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	11
10 追手門広場改修事業	12
11 松並木保存管理事業	13
12 津軽塗後継者育成研修事業	15
13 津軽塗技術保存伝承事業	16
14 弘前市民俗文化財用具修理事業	17
15 レッツウォークお山参詣開催	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存、文化財の修理・整備	19
2 保存・活用を行うための施設の設置、 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	21
3 保存・活用の普及と啓発	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 弘前公園 10日から閉鎖	23
2 天然藍染め マスクに	
3 「国内指折りの産地に」	
4 ねぶたの灯 今年も街に	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 景観ブースの開催	24
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

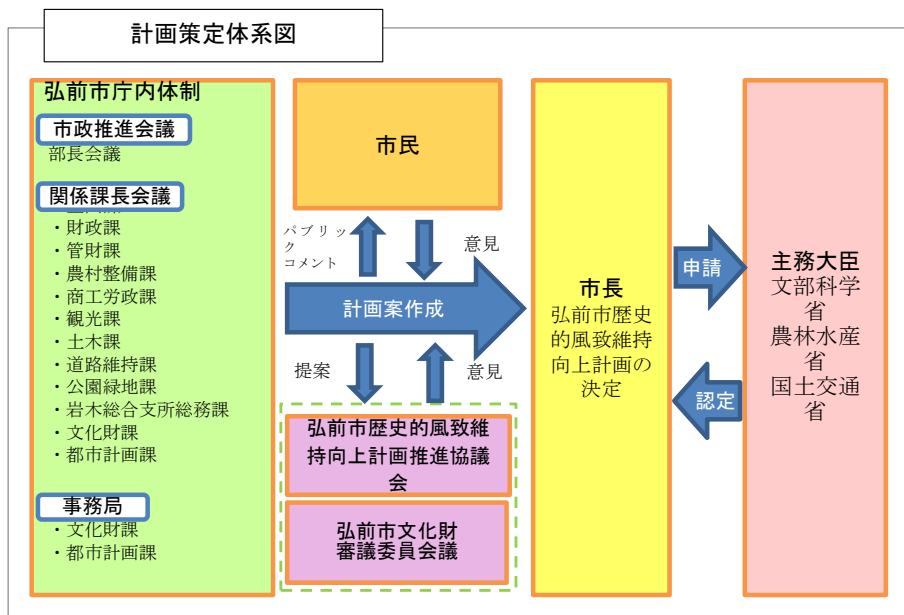
計画に記載している内容 必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等について、報告、意見の聴取等を実施することで計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 書面開催
- (2) 報告 歴史的風致形成建造物の指定について
- (3) 案件 弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について
弘前市歴史的風致維持向上計画について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
趣のある風景情報発信事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容 自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約10,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【市役所正面玄関】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 重要文化財である弘前城天守東面と南面の石垣の崩落の危険性が高いため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。
また、石垣の修理に伴い、天守の一時的な曳屋が必要となるため、この機に保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、石垣東面(北側)積直し工事(石垣復旧面積 A=448.5㎡)に着手し、天守台基礎の検討のため、追加の発掘調査を実施。また、昨年度に引き続き、弘前城跡本丸石垣修理委員会及び弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会を開催し、石垣積直しの方針や発掘調査の内容等について検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 調査・測量・有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【開催日時及び会議内容】

○弘前城跡本丸石垣修理委員会

- 第1回 令和2年10月12日 「発掘調査結果からの天守台石垣崩落の変遷について」、「天守耐震補強基礎杭の形式等と天守台石垣への影響について」、「天守台石垣の安定性補強案の検討について」
- 第2回 令和3年3月14日 「天守耐震補強基礎杭の形式等と天守台石垣への影響について」、「天守台石垣の安定性補強案の検討について」、他

○弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会

- 第1回 令和2年7月17日 「石垣発掘調査の状況について」

【石垣東面(北側)積直し工事概要】

- ・工事期間:令和2年9月26日～令和5年3月20日
- ・工事内容:石垣修復準備工、石材ストックヤード整備工、新補石材調達工、石垣修復工、井戸遺構復旧工、排水石積遺構復旧工、湧水箇所排水対策工、仮設工

【追加発掘調査に関する実施概要】

- ・調査期間:令和2年5月～7月・12月
- ・調査内容:石垣下部の構造と内濠堆積状況の確認と天守台深礎杭打設範囲に旧石垣等の遺構がないか確認した。

【第1回 石垣修理委員会開催状況】



【石垣積直し工事状況】



【第1回 石垣発掘調査委員会開催状況】



【発掘調査状況】



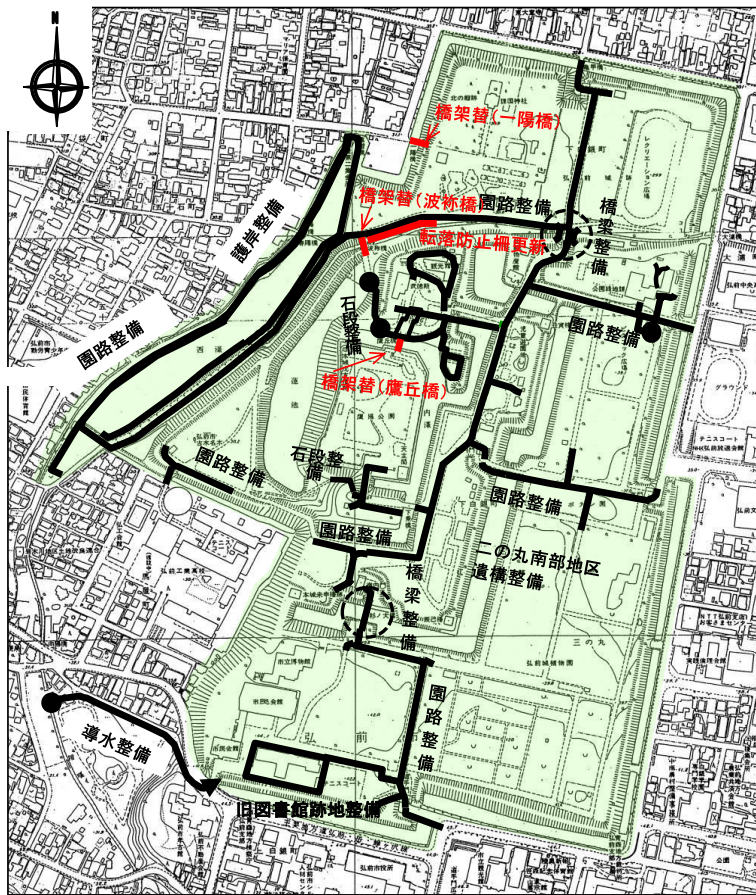
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

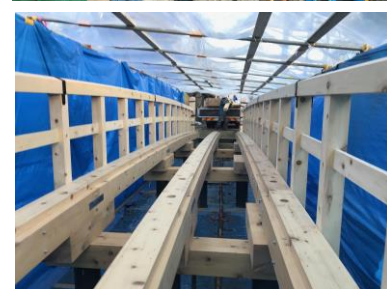
項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
鷹揚公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園・緑地等事業)		
計画に記載している内容	当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、木橋上部工の架替工事や架け替えのための実施設計、また、転落防止柵の更新工事を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・木橋上部工架替:N=3橋(鷹丘橋、一陽橋、波祢橋) ・実施設計:N=1橋(波祢橋) ・転落防止柵更新:L=93.1m 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-		

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【木橋上部工の架替状況写真】



【転落防止柵の状況写真】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
旧五十九銀行本店本館整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業

計画に記載している内容 老朽化が著しい重要文化財である旧第五十九銀行本店本館の適切な保存修復整備を行い、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①美装化事業:外壁漆喰の塗り直しや屋根瓦の取り替え、鉄部塗装等を行う美装化工事を実施。
- ②防災設備設置事業:貯水槽、ポンプ室等を整備する防災設備設置工事を令和元年度に終了。
- ③地域活性化事業:保存活用計画を策定の上、多様な活用のための設備改修工事を実施。
令和2年度の美装化工事は、令和2年9月28日に完了した。
地域活性化事業については保存活用計画で計画した設備改修工事を令和3年2月28日に完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

文化庁の観光拠点形成重点支援事業で計画した事業をすべて完了した。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】

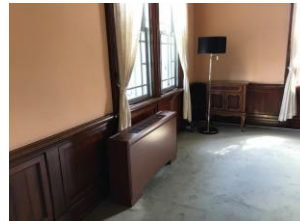


①美装化事業



老朽化した外壁漆喰の塗り直し等を実施した。
竣工: 令和2年9月28日

②地域活性化事業



活用のため、空調設備や照明設備を設置した。
竣工: 令和3年2月18日

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
景観重要建造物保存・改修費助成事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「石場旅館」(平成24年10月16日指定・第1号)について、黒板塀の老朽化が著しいため、修繕工事を行い、費用の一部を助成した。

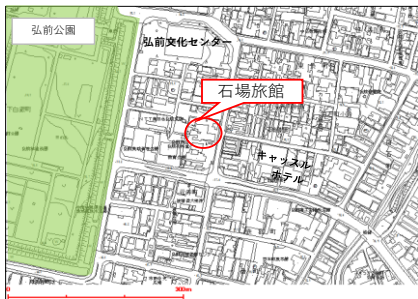
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修繕を進める。

状況を示す写真や資料等

○景観重要建造物「石場旅館」の黒板塀修

【事業位置図】



景観重要建造物「石場旅館」
指定年月日 平成24年10月16日

【修繕箇所】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
趣のある建物情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約15,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【都市計画課 窓口】



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和2年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(調査)

計画に記載している内容	地区住民の高齢化や空き家・空地の増加など様々な社会情勢の変化に伴い、保存地区としての文化的価値が損なわれることが懸念されることから、保存計画の見直しを行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し】
 弘前市仲町地区は、昭和53年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているが、選定以降、地区の保存に関する基本計画である弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画(以下、「保存計画」)の見直しが行われておらず、現行の保存計画では、生活環境や社会経済状況の変化に対応することが困難となっていることから、「景観、住環境の向上による持続可能な保存地区の形成」を目標に保存計画見直しに向けた調査を平成30年度から令和元年度まで実施し、『弘前市仲町伝統的建造物群保存地区保存計画見直し調査報告書』を刊行した。
 令和2年度は、調査結果を受けて、地区住民や建築士会等との意見交換や、弘前市伝統的建造物群保存地区保存審議会での検討を行い、保存活用計画の見直しを実施した。
 ①見直し調査報告会開催 令和2年7月11日
 ②弘前市伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 令和2年8月21日・12月21日・令和3年2月8日
 ③住民説明会 令和2年9月26日・10月～11月で住民アンケート実施
 ④建築士会説明会 令和2年10月7日
 ⑤見直し作業部会 令和2年11月25日

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	見直し調査の成果をもとに、地区住民や建築士等の専門家と協議の場を設け、保存計画の見直し作業を進めることができた。

状況を示す写真や資料等

①見直し調査報告会



②町並みフェア(令和2年8月8～10日) 高校生のワークショップの様子



古武術演武の様子



評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)		
計画に記載している内容	仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。 地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和2年度弘前市伝統的建造物群保存地区内修理修景事業費補助金			
・修理事業費補助金(1件) 総事業費253,154円 補助金交付額202,000円(屋根破風板及び建具修理) ・修景事業費補助金(1件) 総事業費297,000円 補助金交付額198,000円(薬医門控柱更新)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の経費負担の捻出が事業推進において課題となっている。伝統的建造物の根本修理等の事業費が多額になる場合における所有者への支援について、引き続き検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
・修理事業【破風板修理】 			
・修景事業【薬医門控柱更新】 			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
伝統的建造物群保存地区地方道改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和2年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 地区内の市道約1,610mの無電柱化と開渠部の側溝整備、並びに消流雪溝の整備を行い景観に配慮した仕上げを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

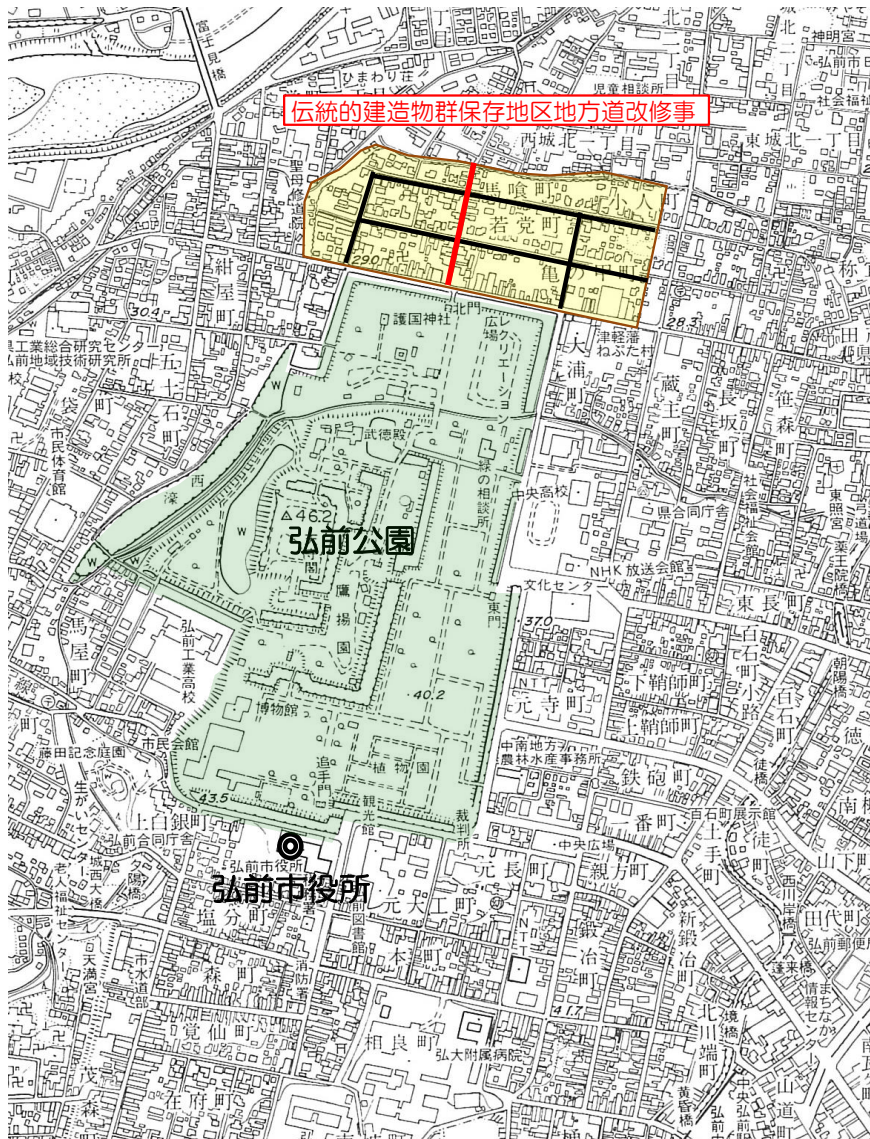
残る区間の市道亀甲向外瀬線において構造物塗装工事、舗装仕上げ工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業箇所】



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和5年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線の未無電柱化区間は、沿道には重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、景観重要建造物である三上ビルがあり、さらにねぷた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

当該区間は他事業によりロードヒーティングを整備することになっており、連携して実施することが必要となる。今年度はこのロードヒーティングの運用について電力事業者と調整を図り、修正設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

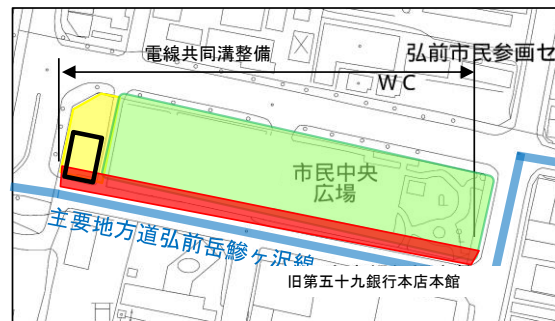
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 弘前公園側の補償物件について、建物所有者と移転時期の調整に時間を要していたが、今年度、補償物件の移転が完了した。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【事業箇所】



- …補償物件箇所(移転完了済み)
- …主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業
- …市民中央広場整備事業(整備済み)
- …市民中央広場整備事業(拡張予定)

【事業箇所】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
追手門広場改修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

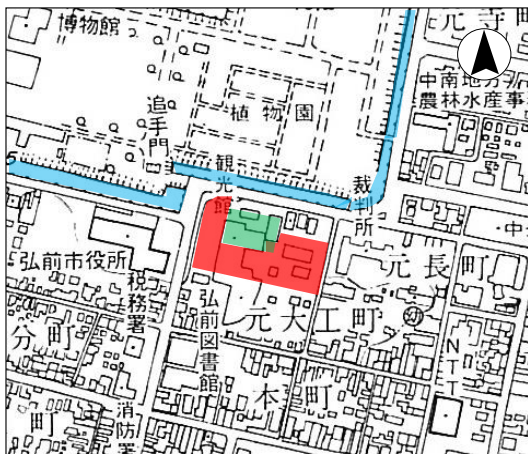
弘前公園周辺の歴史的風致の維持・向上を図るため、弘前市立観光館等の小破修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

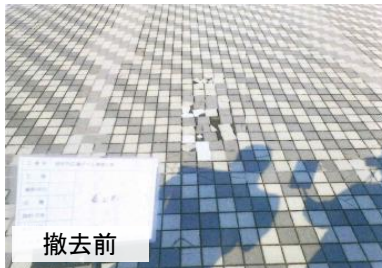
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 来年度も引き続き事業を実施する。なお、懸案事項となっている追手門広場のタイル舗装については、周囲環境等も勘案しながら、歴史的風致の維持・向上に寄与する施工方法を検討していく。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【追手門広場の破損したタイル舗装の補修】



【弘前市立観光館の腐食した排煙窓の改修】



評価軸③-15

歴史的風致維持向上の施設の整備又は管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
松並木保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。
この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り (年2回)

観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。

- ・1回目：6月1日～5日実施
- ・2回目：8月20日～26日実施

②サワラ生垣の刈込 (年1回)

時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(岳きみ)到来までに実施。

- ・9月13日～18日実施

③施肥

- ・10月14日実施
- ・施肥実施対象木：62本中15本(百沢街道)、15本中6本(高岡街道) 計21/77本
- ・使用する化成肥料：18g/本(N:P:K=17:10:10)
マツ1本に対し10～16本使用(幹回りに応じて調整)
総打ち込み本数：268本

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺の環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。

状況を示す写真や資料等

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り

【施行前(1回目)】



百沢街道：令和2年6月1日

【施行後(1回目)】



百沢街道：令和2年6月5日

【施行前(2回目)】



百沢街道：令和2年8月26日

【施行後(2回目)】



百沢街道：令和2年8月26日

②サワラ生垣刈込
【施行前】



百沢街道: 令和2年9月13日

【施行後】



百沢街道: 令和2年9月18日

③施肥
【施工のようす】



百沢街道

【施工のようす】



高岡街道

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
津軽塗後継者育成研修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和2年度実施状況】

研修生:5名(令和3年1月現在)

研修期間:4期生1名⇒平成29年9月～令和3年3月

5期生2名⇒平成30年9月～令和4年3月

6期生2名⇒令和2年9月～令和6年3月

研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。

研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで

※これまで11名が研修を修了し、うち6名が津軽塗職人として活動中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

研修の様子1



研修の様子2



成果発表会の様子1



成果発表会の様子2



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。 <津軽塗技術保存会 令和元年度活動状況> (1)後継者育成:塗研修生3名、木地研修生2名 (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。 今年度は飾り皿や銘々皿等の中塗りまで実施。 (3)成果発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示 令和3年3月12日～14日 観覧者86名 旧紺屋町消防屯所(弘前市)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		保存会の津軽塗技術伝承については体制の構築が急務であるが、市としては今後も引き続きより一層のサポートを行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
【後継者育成研修(塗研修)の様子】		【再現作品制作の様子】	
			
【成果発表会の様子】			
			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
弘前市民俗文化財用具修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和58年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定無形民俗文化財保存団体の活動に必要な用具・衣装の修繕料及び購入費の一部を補助。
令和2年度は、大沢獅子舞保存会(獅子頭ケラ修理)、松森町津軽獅子舞保存会(紋付の購入費)に対し補助金を交付。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。

状況を示す写真や資料等

【獅子頭ケラ修理(大沢獅子舞保存会)】



【紋付新調(松森町津軽獅子舞保存会)】



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
レッツウォークお山参詣開催			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和59年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるよう、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して事業費の一部補助を行ってのイベント開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みてイベント開催を中止した。代替事業として、JR東日本弘前駅構内にお山参詣に関する装飾を行うとともに、お山参詣期間に合わせて登山囃子の演奏披露を行い、市民・観光客の歴史的風致に対する理解促進等を図った。 お山参詣に関する装飾:8月15日～9月30日 登山囃子の演奏披露:9月15日～17日			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見つづけるが、歴史的風致の維持・向上に資するものであることから、来年度も事業を実施したい。		

状況を示す写真や資料等



JR東日本弘前駅構内におけるお山参詣に関する装飾実施状況



登山囃子の演奏披露状況

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	弘前にのこる歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○文化財の保存 ①県重宝(絵画)の指定:1件指定 紙本着色弘前八幡宮祭礼図巻 全5巻 ②埋蔵文化財:詳細分布調査を1地区で実施。 ③民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(1団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。			
○文化財の修理・整備 ①弘前城跡整備 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲) ・弘前城本丸石垣整備事業(H19~R6年度) 令和2年度は、昨年度完了の石垣解体工事に伴う発掘調査成果等について、石垣積直しに向けた内容の再整理等を行った。 2)鷹揚公園[史跡津軽氏城跡]整備事業(H20~R2年度)(再掲) 令和2年度は、公園内 箇所毎の橋梁の修理工事等を実施した。 ②石場家住宅保存修理事業 事業期間:R元~R2年度 令和2年度は屋根修理と一部耐震補強工事を実施した。 ③誓願寺山門保存修理事業 事業期間:R2~R3年度 令和2年度は耐震診断等を実施し、保存修理工事に着手した。 ④岩木山神社社務所保存修理事業 事業期間:R2年度 老朽化した茅屋根の差し茅等を実施した。 ⑤鬼沢のカシワ樹勢回復事業 事業期間:R2年度 樹勢回復の施肥、腐朽部の除去、支柱の整備等を実施した。 ⑥吉田松陰来遊の地附松陰室保存修理事業 事業期間:R2年度 老朽化した松陰室の部分修理を実施した。 ⑦旧第五十九銀行本店本館整備事業(再掲) 1)旧第五十九銀行本店本館美装化事業 事業期間:H30~R2年度 令和2年度は外壁漆喰塗直し等を実施し、工事を完了した。 2)旧第五十九銀行本店本館文化財建造物等活用地域活性化事業 事業期間:H30~R2年度 令和2年度は空調設備改修工事等を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
文化財の修理・整備 ②石場家住宅保存修理事業			
			
		葎を保護するため、合板及びブルーフィングを施した上で鉄板を葎きなおした。	
			
		併せて一部耐震補強工事を実施した。 竣工:令和2年12月21日	

③誓願寺山門保存修理事業



「重要文化財(建造物)耐震診断指針」に基づき、構造補強案の検討のため、ボーリングによる地盤調査等を行った。

④岩木山神社社務所保存修理事業



老朽化した茅材を解体し垂木を更新した。



老朽化した箱棟及び箱棟部分の修理を実施した。

竣工：令和2年9月30日

⑤鬼沢のカシワ樹勢回復事業



支柱設置作業



殺菌剤塗布作業
完了：令和2年8月31日

⑥吉田松陰来遊の地附松陰室保存修理事業



外壁塗直し、腰板壁補修、建具修理等を実施した。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区において防災計画の見直しを進める。さらに、重要文化財(建造物)等の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○文化財の周辺環境の保全 ①伝統的建造物群保存地区地方道改修事業について、令和2年度は市道亀甲向外瀬線において路面の美装化工事を実施した。(再掲) ○文化財の防災・防犯 ①平川家住宅防災設備設置事業 期間:令和2年度 市指定文化財平川家住宅の火災報知設備を設置した。 ②文化財防火デーに合わせて重要文化財旧弘前偕行社において防災訓練を実施。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—		

状況を示す写真や資料等

文化財の防災・防犯

①市指定文化財平川家住宅防災設備設置事業。



②文化財防火デーに合わせて1月24日に、重要文化財旧弘前偕行社において防災訓練を実施。



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
保存・活用の普及と啓発			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うとともに、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○保存・活用の普及と啓発			
①「ちびっこ縄文講座」開催 市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。 6月24日、7月10日、10月16日、10月24日に実施。参加人数：延べ104人			
②「堀越城秋まつり」開催 城郭の専門家によるシンポジウムや整備現場見学会などを実施。 9月29日に実施。参加人数：623人			
③「まちなかクラフト村」開催 市内の工芸品の展示・販売を実施。 4月2日～4月9日ほか計13回実施。参加人数：延べ7,191人			
④その他学習支援及び一般説明等 小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。 実施回数19回 参加人数：697人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
①「ちびっこ縄文講座」		②「堀越城秋まつり」	
 <p>令和2年7月3日～11月26日 参加人数：延べ238人</p>		 <p>令和2年9月27日 参加人数：520人</p>	
③「まちなかクラフト村」		④その他学習支援等	
 <p>令和2年4月2日ほか 参加人数：延べ7,191人</p>		 <p>令和2年6月22日ほか 参加人数：延べ697人</p>	

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
弘前公園 10日から閉鎖	R2.4.2	東奥日報
天然藍染め マスクに	R2.4.9	陸奥新報
「国内指折りの産地に」	R2.6.5	陸奥新報
ねぶたの灯 今年も街に	R2.7.28	東奥日報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、歴史的風致である弘前さくらまつり、弘前ねぶたまつり及びお山参詣が中止となった。計画の進捗に影響が出ることも懸念されたが代替事業などを実施し、歴史的風致の維持向上に努めた。また、コロナ禍において必需品であるマスクが天然藍染めで商品化された。そのほか、津軽塗の材料である漆についての研修会が開催されるなど本市の歴史的風致の魅力が周知された効果は高い。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

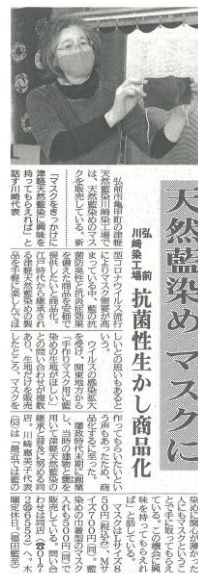
新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、今後とも、工夫しながら計画を着実に推進し、実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やす。

状況を示す写真や資料等

(1) 令和2年4月2日 東奥日報 掲載



(2) 令和2年4月9日 陸奥新報 掲載



(3) 令和2年6月5日 陸奥新報 掲載



(4) 令和2年7月28日 東奥日報 掲載



- (1) (4) 東奥日報社提供
この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。
- (2) (3) 陸奥新報社提供
この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。
転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りいたします。

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和2年度

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

旧弘前借行社で開催した「エール津軽!!魅力発見!津軽応援フェア」(※コロナ禍で落ち込んだ消費喚起、消費活動の活発化、近場の観光振興を目的に、津軽広域8市町村(弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村)の魅力ある特産品の販売等を8市町村が持ち回りで行うフェア)において当市の趣のある建物・風景、前川建築等、景観事業全般についての周知を行う景観ブースを開催し、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や地域資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

開催機会が希少であった不特定の方が集まるイベントにおいて景観ブースを開催し、景観啓発を行った。記念品(うちわ)が好評であったため、今後も将来につながる継続的な景観保全のために、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

うちわ

【景観ブース(エール津軽)】



来場者に配布した「前川國男建築／重要文化財旧弘前借行社」うちわ



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度

令和2年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 書面開催(令和3年3月24日)

(コメントの概要)

■ 議事の内容

- ・歴史的風致形成建造物の指定について
- ・計画の進捗評価について
- ・計画の軽微な変更について

■ 歴史的風致形成建造物の指定について(候補: 川崎染工場、一戸時計店)

- ・候補2か所を指定することについて、特段の意見はなかった。

■ 計画の進捗評価についてのコメント

- ・伝統的建造物群保存地区内の民間敷地にある電柱等を規制するべきではないか。

■ 計画の軽微な変更についてのコメント

- ・景観条例において、公共の場から見えているエアコンの室外機を規制するべきではないか。
- ・弘前忍者屋敷を歴史的風致形成建造物候補へ追加し、保存活用を考える必要はないか。

(今後の対応方針)

景観に関する規制については、当市景観計画等の景観施策により規制・誘導が行われているため、引き続き、景観保全を進め、併せて、歴史景観資源の啓発、歴史的風致の維持向上等に係る事業を行っていく。